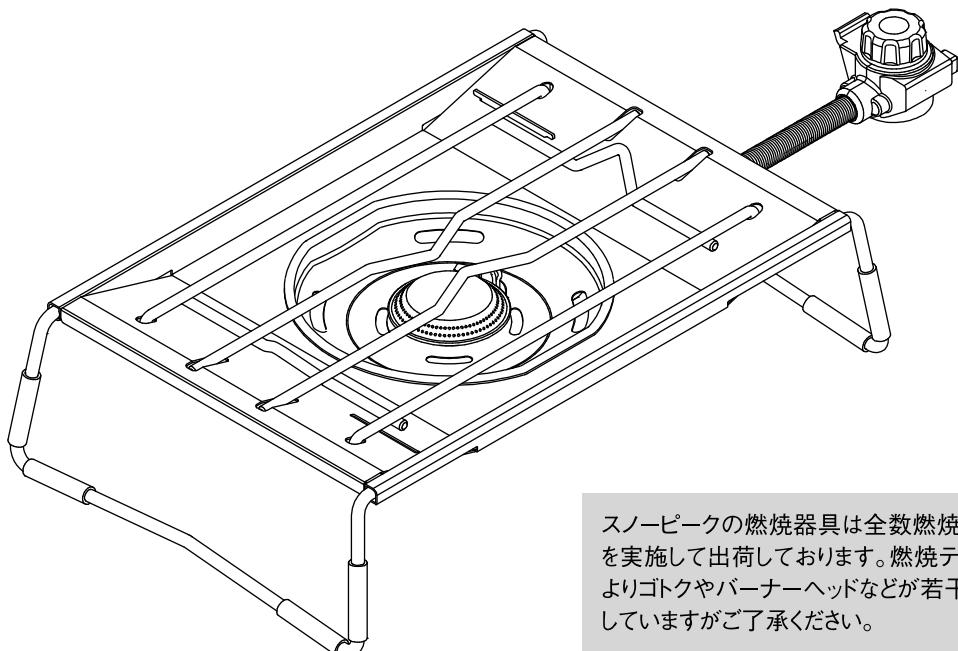


GS-450 フラットバーナー

この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品はアウトドア用に開発された屋外専用の分離型こんろです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。



スノーピークの燃焼器具は全数燃焼テストを実施して出荷しております。燃焼テストによりゴトクやバーナーヘッドなどが若干変色していますがご了承ください。

本製品は屋外専用です。屋内、車内、テント等では使用しないでください。一酸化炭素中毒死や酸欠により窒息死の恐れがあります。屋外であっても狭い空間では換気にご注意ください。使用中または使用直後は器具が熱くなっていますので火傷には十分注意してください。また、お子様が手を触れないようにご注意ください。

安全上の注意事項 ご使用の前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

本取扱説明書における警告と注意について

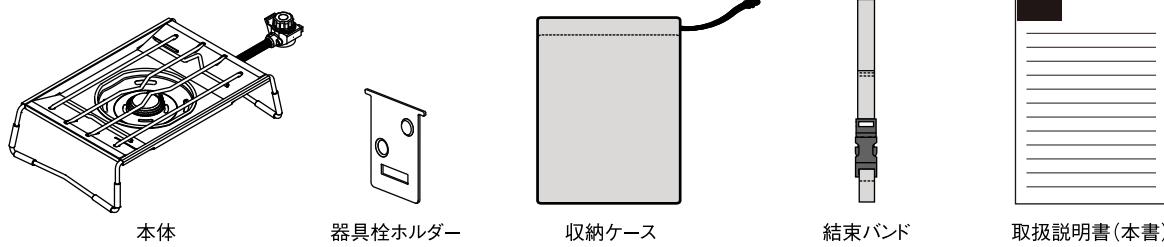
△ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

△ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

△ 注意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険、及び物的損害の発生が想定されることを示します。

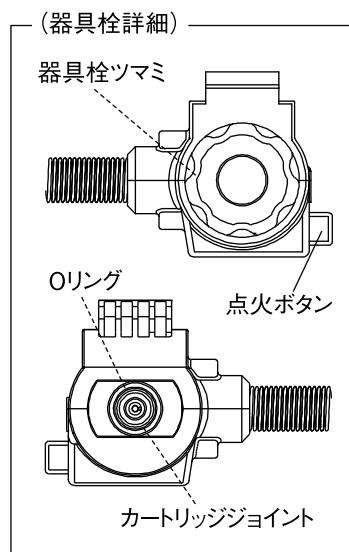
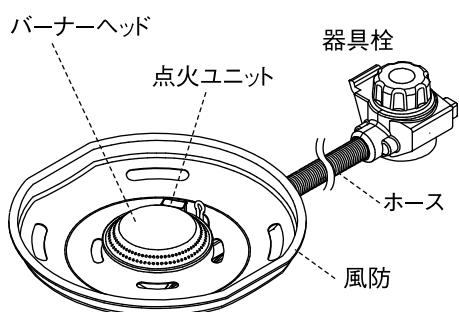
セット内容・各部名称

《セット内容》

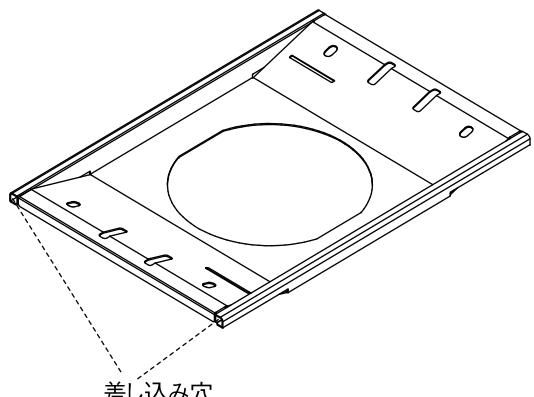


《本体詳細》

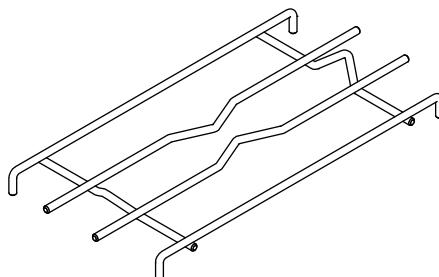
①バーナー本体



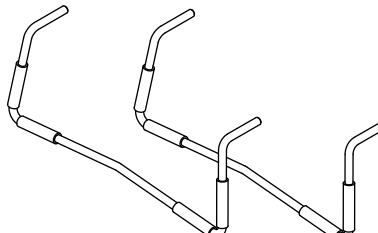
②トッププレート



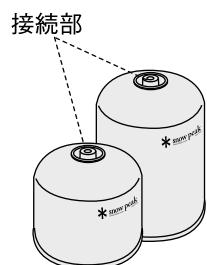
③ゴトク



④脚



ガスカートリッジ(別売)



スペック

品 名	カセットこんろ(分離式)
型 式	GS-450
外 形 尺 法	270×410×110mm(ホース、器具栓を除く)
重 量	1.9kg(収納ケースを除く)
ガス消 費 量	250g/h
出 力	3,000kcal/h
専用ガスカートリッジ	GP-500GR、GP-500SR、GP-250GR、GP-250SR
原 産 国	MADE IN KOREA

●ガス消費量および出力は当社試験室にて測定、算出したものです。

●ガスカートリッジは上の表の、スノーピーク指定専用ガスカートリッジのみをお使いください。

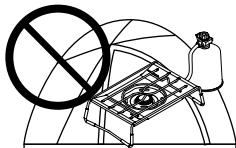
・対応鍋径23cm以下/5ℓ以下
・ダッチオーブン使用不可

危險

テントの中や車中、屋内では絶対に使用しないでください。

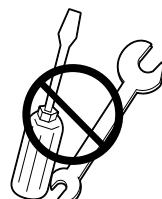
本製品は屋外専用です。屋内やテントの中、車内などでは絶対に使用しないでください。酸欠や有毒ガスにより死亡あるいは、重篤な中毒になる恐れがあります。

本製品は屋外専用に設計されています。使用中は酸素を大量に消費します。限られた空間での使用は酸欠、一酸化炭素中毒になることがあります。また火災の危険もあります。



お客様による修理や改造は絶対にしないでください。

- 理由 ■本製品やガスカートリッジは精密に作られています。改造は性能低下になるばかりか不完全燃焼やガス漏れの原因になることがあります。修理に関しては、お買い求めの販売店または弊社ユーザーサービス係へお問い合わせください。



調理用こんろに点火する前にはガスが漏れていないことを必ず確認してください。

- 理由 ■器具栓ツマミが確実に閉じているか確認してからガス缶を取り付けてください。また、ガス缶取付け後に各接続部よりガス漏れがないことを確認してから点火してください。ガス漏れをしている状態で点火すると、異常燃焼による火傷、あるいは中毒症状になったりすることがあります。少しでも異常を感じた場合は、直ちにご使用を中止し、お買い求めの販売店または弊社ユーザーサービス係までご相談ください。ガスが漏れている状態では絶対に点火しないでください。

ガスカートリッジのガスを故意に吸い込まないでください。

- 理由 ■故意にガスを吸い込むと酸欠のため窒息死します。絶対にしないでください。



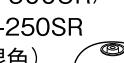
ガスカートリッジの再充填は絶対にしないでください。

- 理由 ■専用ガスカートリッジは繰返し充填するよう設計されています。絶対にしないでください。

警告

本製品にはスノーピーク指定専用ガスカートリッジをご使用ください。スノーピーク製のガスカートリッジは本製品の性能が最大限に発揮できるように作られています。それ以外のガスカートリッジは使用しないでください。またスノーピーク製のガスカートリッジであっても使用できるガスカートリッジが定められています。指定専用容器は次の項目をご覧ください。

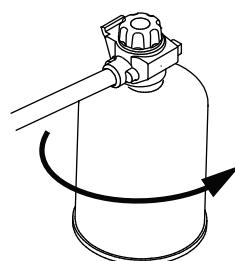
- 理由 ■ 指定以外のガスカートリッジはバルブ形状、ノズルの太さなど規格が異なります。この基本設計の違いでガス漏れが発生し、引火や火災あるいは異常燃焼を起こすことがあります。

指定専用ガスカートリッジ	
GP-500GR/ GP-250GR (金色)	GP-500SR/ GP-250SR (銀色)
	



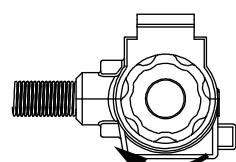
ガスカートリッジの着脱は垂直に立てた状態で行ってください。

- 理由 ■新しい状態のガスカートリッジは液状のガスが上部まで入っています。斜めに傾いた状態で取り付けすると液状のガスが勢いよく噴出することがあり大変危険です。周辺に火気がないことを確かめ、垂直に立てて装着してください。接続するネジは大変重要な部分です。斜めにねじ込むとガス漏れの原因になります。



ガスカートリッジを接続する前には必ず器具栓ツマミを時計回転方向に回し、器具栓ツマミが閉じていることを確認してください。

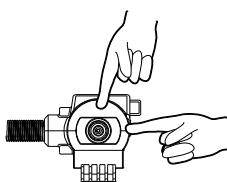
- 理由 ■ 収納時や運搬時に器具栓ツマミが開いてしまうことがあります。



⚠ 警告

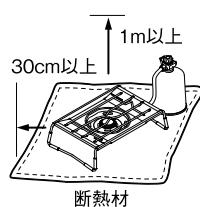
カートリッジジョイントのOリング（消耗品）はご使用の都度点検してください。摩耗や損傷があるときは直ちに使用を中止し、ご購入いただきました販売店もしくは弊社ユーザーサービス係までご相談ください。

■ 理由 ■ 容器の取り付け、取り外しでOリングが摩耗します。また、ゴム製のOリングは使用しなくても劣化します。劣化したり損傷したOリングを使用するとガス漏れの原因となります。



燃えやすいものから上は1m以上、周囲30cm以上離しストーブの下には断熱材を敷いてご使用ください。

■ 理由 ■ 風向きにより炎の熱は横方向や下方に流れます。上方には強く伝わりますので火災にならないように燃えやすいものは十分な距離を保ってください。また、鍋からの輻射熱で床面の温度が上昇し、火災につながる危険がありますので、器具の下に断熱材を敷いてください。



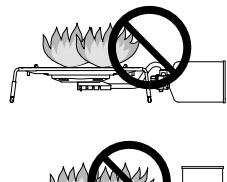
水平で安定した場所に設置してお使いください。

■ 理由 ■ 傾斜していたり不安定な状態で使用すると、転倒し火傷や火災の危険があります。



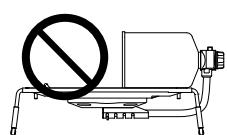
容器は正立した状態で使用してください。

■ 理由 ■ 横にしたり、倒立した状態で使用すると液状のガスが勢いよく噴射して異常に大きな炎が出て、火災の原因となります。容器の置き場には充分注意してください。



いかなる場合においても、ゴトクの上にガスカートリッジを載せないでください。

■ 理由 ■ たとえ消火した状態でも、ゴトクは高温になっている場合があり、ゴトクの熱によりガスカートリッジが爆発する恐れがあります。



ホースを強く折曲げないでください。また、保管中にいたホースの巻き癖はまっすぐに直し、ガスカートリッジをなるべく本体から遠ざけてください。

■ 理由 ■ ガス漏れが発生し、引火や火災あるいは異常燃焼を起こすことがあります。



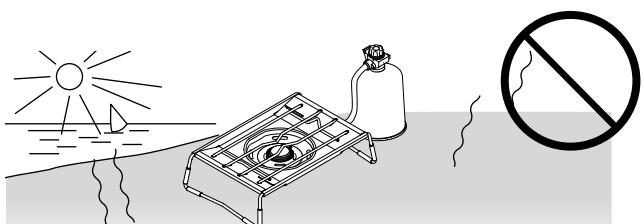
空のガスカートリッジでも火の中に投じたり他の熱源のそばに置かないでください。

■ 理由 ■ 空になったガスカートリッジでも、微量のガスが残っています。火の中に投じたり他の熱源のそばに置くと内圧が上昇し爆発することがあります。



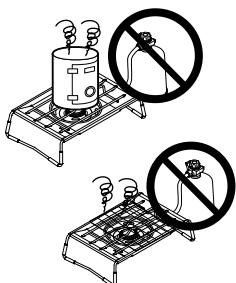
本製品やガスカートリッジを40度以上の砂浜や川原の石の上、金属面、鋪装路面上では、使用および放置・保管をしないでください。

■ 理由 ■ 直射日光を受けた砂浜や川原の石、金属面、鋪装路面上は外気温より高温になっています。その上にガスカートリッジを放置したり、本製品を使用するとガスカートリッジが過熱され内圧が急激に上昇し異常燃焼をしたり爆発することがあります。



鉄板や焼網、セラミクス製品、くん製機などは使用しないでください。

■ 理由 ■ 鉄板や焼網、セラミクス製品、くん製機などは予期せず輻射熱によりガスカートリッジが異常加熱し、ガスカートリッジの内圧が急激に上昇し爆発する危険があります。



本製品で炭の火起しは絶対にしないでください。

■ 理由 ■ バーナー本体やホース、ガスカートリッジが異常加熱し、ガスカートリッジの内圧が急激に上昇し、爆発の危険があります。



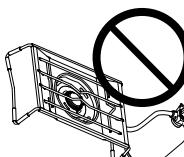
調理以外の目的に使用しないでください。

■ 理由 ■ 暖房や衣類の乾燥など調理以外の使用は、火災や火傷、酸欠など思わぬ事故につながる場合があります。



火がついたまま傾けたり振ったり、持ち運ばないでください。

■ 理由 ■ 風等で炎が流れたり、炎が急に大きくなるなどして火傷を負う危険があります。



⚠ 警告

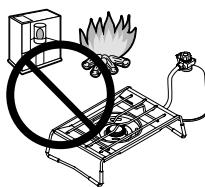
爆発等の危険があるのでガスカートリッジは完全に使い終わってから他のゴミと区分して捨ててください。また、長時間本製品を使わないときはガスカートリッジを取外してください。本製品は付属の収納ケースに入れ、ガスカートリッジにはキャップを取付けて保管してください。

■ 理由 ■火力調節ツマミが不用意に開きガスが漏れことがあります。本製品並びにガスカートリッジの接続部分にゴミやホコリが付着すると故障の原因になります。



ヒーターや焚火など、他の熱源があるところでは使用しないでください。

■ 理由 ■他の熱源によりガスカートリッジが異常加熱し、ガスカートリッジの内圧が急激に上昇し爆発の危険があります。



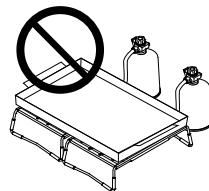
お子様の手の届かないところに保管してください。

■ 理由 ■お子様に危険が及ばないように、本製品やガスカートリッジはお子様の手の届かないところに保管してください。



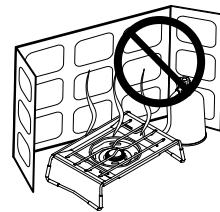
一つの調理器具に複数の燃焼器具を並べて使わないでください。

■ 理由 ■大きな鍋や鉄板などで複数の燃焼器具を使用するとお互いの炎でガスカートリッジが異常加熱し、ガスカートリッジの内圧が急激に上昇し、爆発の危険があります。



風防や天ぷらガード、石などで本製品を囲まないでください。

■ 理由 ■風防や天ぷらガード、石などで囲むと容器が異常に熱を吸収してしまいます。その上にナベなどをのせるとフタをしてしまう形になり異常に温度が上昇して爆発の危険がありますので絶対にしないでください。



本体は、完全に冷めているのを確認してから収納してください。

■ 理由 ■本体が熱を持った状態で収納すると、収納ケースが溶けたり、ガスカートリッジに熱が伝わって爆発する等の危険があります。必ず完全に冷めていることを確認してから収納してください。

ガスカートリッジはご使用前は必ず点検してください。

■ 理由 ■外観のキズやコミ、サビなどの異常があるとガス漏れなどの危険がありますので、使わないでください。また、保管中も時々点検してください。



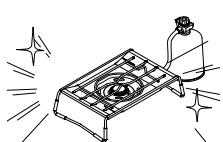
ガスカートリッジは航空機に持ち込めません。

■ 理由 ■法律により、カートリッジを航空機に持ち込むことはできません。



使用後は点検・清掃をして、本製品をケースに入れ保管してください。

■ 理由 ■本製品に付着した水分やホコリ、ゴミが目詰まりやサビを起こし故障の原因となります。次回問題が出ない様に点検・清掃をしてください。



本体を落下させたり、強い衝撃が加わった時は使用を中止してください。

■ 理由 ■外観に問題がない場合でも、内部の機構が壊れている可能性があります。外観に問題がない場合でも、販売店または弊社ユーザーサービスまで点検を依頼してください。



【本体使用中の注意】

- ガス漏れのあるもの、衝撃を受けたもの、正しく作動しなくなったものは使用しないでください。
- 使用する前に器具栓にゴミやホコリが付着していない事を確認してください。器具栓は常にきれいにして、不用意に地面に置くなどしないでください。ゴミやホコリが付着すると出力を低下させたり、ガスが出ないなどの故障の原因になります。
- 気温やガスカートリッジの温度によりガス圧が変化し燃焼状態(炎の具合やパワーなど)が変化します。
- 強い風や煮こぼれ等で火が消える事があります。使用中は目を離さないでください。
- 異常燃焼が起ったときは速やかに消火し使用を中止してください。
- 炎があたる部分や炎に近い部分は金属が焼けて変色します。
- ガス臭がしたら決して着火しないでください。全ての火や炎を消火し、ガスカートリッジを取り外してください。

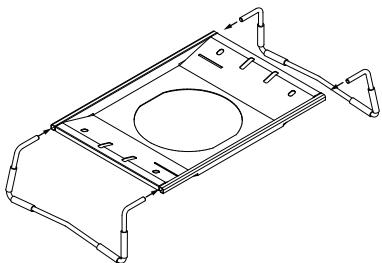
【バーナー本体/風防についての注意】

- 風防表面はホーローで被覆してあります。ホーローは製法上、端部など被覆にくい部分があり、端部が水などに長時間触れているとサビが発生することがあります。
- 強い衝撃が加わると、表面のホーローにヒビが入ったり、端部が欠けることがあります。
- 手入れの際は、金属製のタワシや磨き粉を使用しないでください。

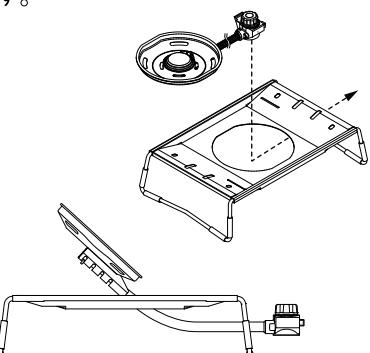
使用方法

組み立て方法

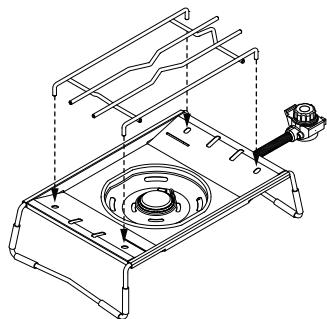
- 1.脚をトッププレートの差し込み穴に差し込みます。(両側)



- 2.バーナー本体をトッププレートに取り付けます。

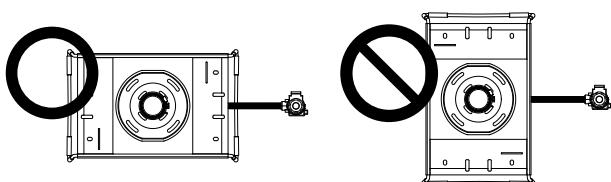


- 3.ゴトクをトッププレートに載せます。



警告

バーナー本体の器具栓及びホースは、トッププレートの短辺側から出してください。長辺側には取り付けできないようになっています。

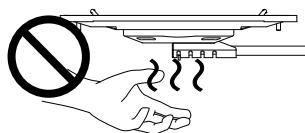


本製品を使用する際、ふきこぼれにご注意ください。風防の構造上、トッププレート直下に煮汁等がこぼれ、思わぬ事故につながる恐れがあります。

バーナー本体のみ(パーツのみ)で使用しないでください。

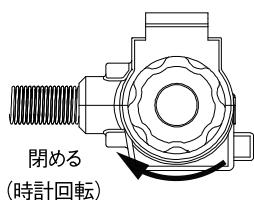
使用中はトッププレート及び、ゴトクが大変熱くなります。直接触れぬようご注意ください。

本体底部と下面の空間は高温になります。不意に火傷を負う恐れがありますので、十分に注意してください。

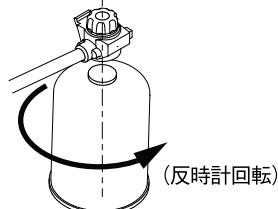


ガスカートリッジの取付方法

- 1.器具栓ツマミが閉じていることを確認してください。

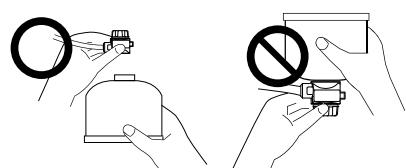


- 2.ガスカートリッジの接続部を上にして、カートリッジジョイントと接続します。



注意

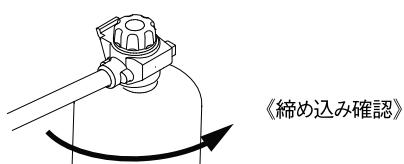
ガスカートリッジは正立(接続部が上)の状態で取り付けてください。



警告

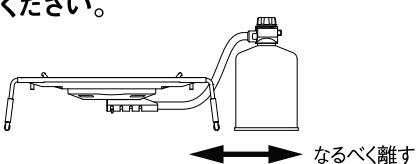
スノーピーク指定専用容器(GP-500GR、P-500SR、GP-250GR、GP-250SR)を使用してください。指定容器以外は使用しないでください。

ガスカートリッジは、器具栓にしっかりと絞め込んでください。締め込みが甘いと、ガス漏れの原因となります。



ガスカートリッジの取り付け、取り外しの際は、少量のガスが漏れます。火気のあるところや、換気の悪い所での着脱は引火の恐れがあり、大変危険ですので、絶対に行わないでください。

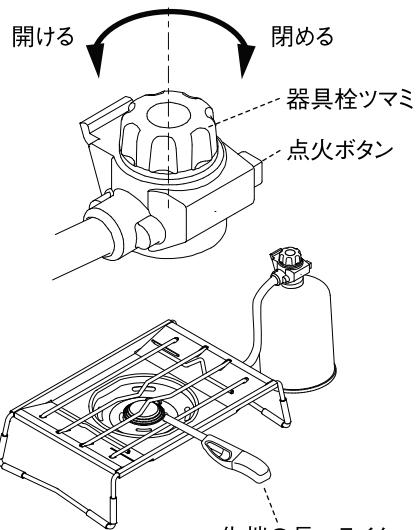
ホースをまっすぐに直し、本体とガスカートリッジをなるべく離してください。



操作の仕方

1.点火方法

器具栓ツマミを正面から見て反時計方向(左回転)にゆっくりと回し、ガスを少量噴出後、点火ボタン数回を押します。着火できないときは一旦器具栓ツマミを閉めてからやり直してください。



△警告 着火の際は、周囲に燃えやすい物が無いことを確認してください。
また、バーナーの上部に手や体を近づけたり、バーナーを覗き込まないでください。大きな炎が上がり火傷を負う危険があります。

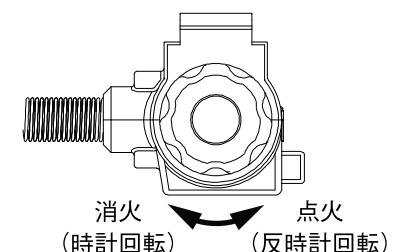
△注意 イグナイタは天候や標高によって点火できなくなる場合があります。必ず予備に先端の長いライターを等をご用意ください。

2.火力調節

器具栓ツマミは反時計回転方向(左回転)に回すと火力が大きくなり、時計回転方向(右回転)に回すと小さくなります。器具栓ツマミはゆっくりと回してください。

3.消火方法

器具栓ツマミを時計回転方向(右回転)にゆっくりと火が消えるまで回します。完全に火が消えたことを確認してください。

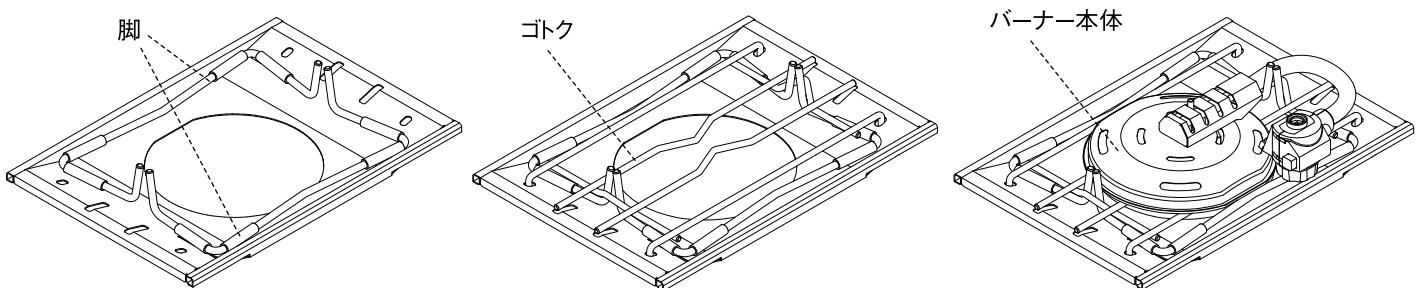


ガスカートリッジの取り外し方法

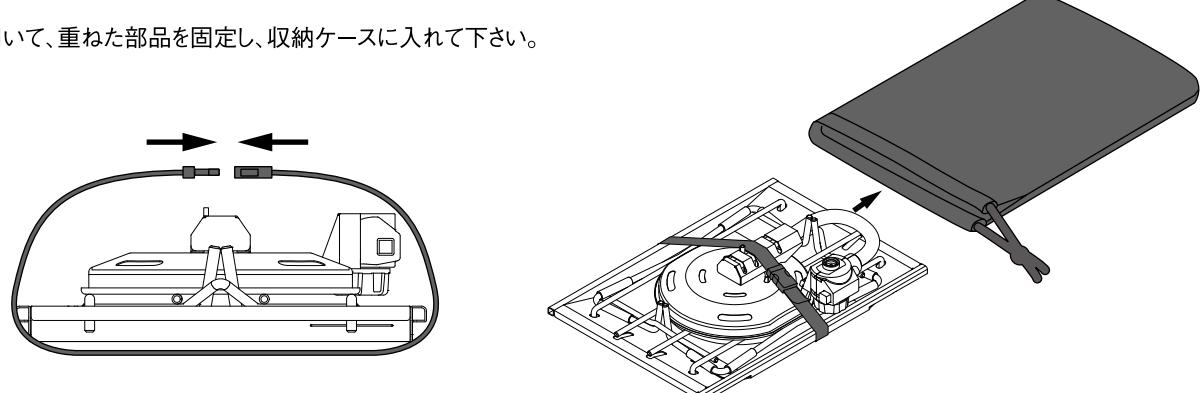
ガスカートリッジを正立の状態で、時計回転方向に回しガスカートリッジを外します。外したガスカートリッジには必ずキャップを取り付けて保管してください。

収納方法

「組み立て方法」の逆の手順でトッププレートからゴトク、バーナー本体、脚を取り外し、下図の様に重ねます。



結束バンドを用いて、重ねた部品を固定し、収納ケースに入れて下さい。

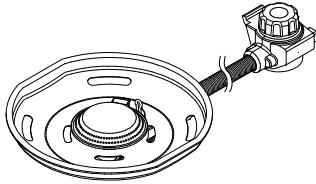


△警告 使用後は製品本体が大変熱くなっています。必ず完全に冷めた状態を確認して、収納してください。

メンテナンス方法(お手入れ)

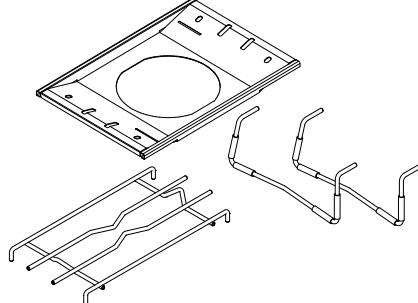
【バーナー本体】

- ・バーナー本体は水洗い出来ません。汚れや塩分が付着した場合は、固く絞った布で汚れを拭き拭き取ってください。
- ・汚れの拭き取り後、乾いた布で水気を拭き取り、風通しの良い日陰で乾燥させてください。



【トッププレート/ゴトク/脚】

- ・やわらかいスポンジたわしに中性洗剤をつけて洗ってください。
- ・洗浄後、乾いた布で水気をふき取り、風通しの良い日陰で乾燥させてください。



トラブルシューティング

故障・異常の見分け方と処置の仕方

症状	チェックポイント	処置
ガスが漏れる (ガスのにおいがする)	・ガスカートリッジはしっかりとねじ込まれているか。 ・ガスカートリッジは斜めに取りついでいるか。	・ガスカートリッジを取扱説明書どおりに取り付ける。
	・カートリッジジョイントのOリングは傷んでいないか。 ・ガスカートリッジ部以外からガスが漏れていないか。	・直ちに使用を中止する。
点火しない/炎が不揃い	・バーナーヘッド部が目詰まりしていないか。	・バーナーヘッドを清掃し、目詰まりを除去する。
火力が弱い	・ガスカートリッジの残量が少ない。 ・ガスカートリッジが冷たくなっている。	・新しいガスカートリッジと交換する。
使用中に消える	・ガスカートリッジの残量が少ない。 ・バーナーヘッド部が目詰まりしていないか。	・新しいガスカートリッジと交換する。 ・バーナーヘッドを清掃し、目詰まりを除去する。
消火しない	・器具栓ツマミが開いていないか。	・器具栓ツマミを最後まで閉める。
赤火が発生する	・点火部の場所だけ発生している。 ・吹きこぼれたものが付着していないか。 ・ゴトクの場所だけ発生している。	・点火部の素材による炎色反応であるため、異常ではありません。 ・バーナーヘッドを清掃し、付着物を除去する。 ・ゴトクの素材による炎色反応であるため異常ではありません。
点火ボタンを押しても点火しない	・ガスカートリッジの残量が少ない。 ・バーナーヘッド部が目詰まりしていないか。 ・ガスカートリッジが確実に取り付けられていない。	・新しいガスカートリッジと交換する。 ・バーナーヘッドを清掃し、目詰まりを除去する。 ・「使用方法」の項をよく読みガスカートリッジを確実に取り付ける。
ゴトク、バーナーヘッドに焼け色が発生		・燃焼により金属が変色したためであり、異常ではありません。

それでも解決しないときは… 直ちに使用を中止し、ご購入いただいた販売店または弊社ユーザーサービス係までお問合せください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期しますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店様または弊社にご相談ください。製品上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は、弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので、予めご了承ください。

- 1.取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
- 2.素材の経年劣化による製品の寿命。
- 3.改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
- 4.不測の事故による製品の故障。
- 5.その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
- 6.ゴミやサビによる故障。
- 7.分解したことによる不具合の発生または破損。
- 8.落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
- 9.消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
- 10.他社製品との組合せによる故障。

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス

0120-010-660 (9:00~17:00)

Email:userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

T955-0147 新潟県三条市中野原456

tel:0256-46-5858 fax:0256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

MADE IN KOREA